

超高速・高精度レーザ変位センサ センサヘッド HL-C205□

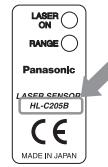
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく最適な方法でご使用ください。尚、この取扱説明書は大切に保管してください。

警告

- 本製品は、対象物の検査(判定・測定)を行なうもので、人命や財産に影響をあたえる事故防止など安全確保のために使用しないでください。
- 危険ですので、レーザ光の直接光やその他の反射光を見たり触れたりしないでください。
- 本製品は工業環境に使用する目的で開発、製造された製品です。

はじめに

- 本製品を使用する前に確認をしてください。

 ヘッドの型式の確認
センサヘッドの上部にある型式を確認してください。
ご購入された製品の名称が記載されています。

付属品の確認

- 次のものが揃っているか確認してください。
- センサヘッド本体×1
 - 取扱説明書(本書)×1
 - レーザ警告ラベル
 - [JIS/IEC/KS : 1セット、GB : 1セット(Eタイプのみ)]

本製品はCEマーキング適合品のコントローラ、プログラマブル表示器と組み合わせて使用することによりCEマーキング適合品となります。また、UKCAマーキング適合品のコントローラ、プログラマブル表示器と組み合わせて使用することによりUKCAマーキング適合品となります。

1 概要

- 本製品は受光素子にリニアイメージセンサを使用して、超高速サンプリング・高精度測定により高精度の必要な高速設備にも対応した変位センサヘッドです。
- 設定と設置により拡散反射と正反射ヘッドとして使用することができます。

2 レーザ製品を安全にご使用いただくために

- レーザ製品によって使用者に障害が発生するのを未然に防止することを目的として、IEC規格、JIS規格、GB規格、KS規格、FDA規則ではそれぞれ次の基準が制定されています。

IEC : IEC 60825-1:2014

JIS : JIS C 6802:2014

GB : GB 7247.1-2012

KS : KS C IEC 60825-1:2013

FDA : PART 1040.10, 1040.11(Laser Notice No.56)

この基準ではレーザの危険度に応じてレーザ製品をクラス分けし、各クラスごとに実行すべき安全予防対策を定めています。

● クラス分けの説明

IEC 60825-1:2014 (JIS C 6802:2014)によるクラス分け

クラス分け	機種	危険評価の概要
クラス2	HL-C205B (E)	まばたきなどの嫌悪反応(回避行動)によって目が保護される400nm~700nmの波長範囲の可視光を放出するレーザ。
クラス3R	HL-C205C (E) HL-C205C (E)-MK	直接のビーム内観察は潜在的に危険である302.5nm~10 ⁶ nmの波長範囲で放出するレーザ。

● 警告ラベル

<HL-C205B□>

日本語/英語/韓国語表記



中国語表記 (Eタイプのみ)



<HL-C205C□>

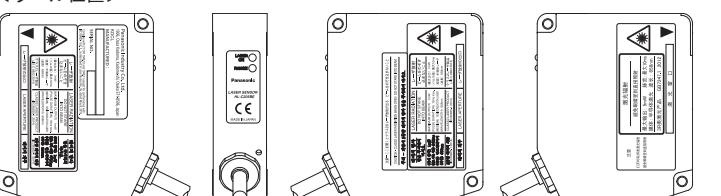
日本語/英語/韓国語表記



FDA証明ラベル



ラベル位置



- レーザビームが直接目に入らないように、ビームが目の高さよりも上方または下方になるような位置に取り付けてください。
安全距離(公称眼障害距離: NOHD)は約0.4mですが、レーザビームは拡散反射体または吸収体で終端してください。
- 故障の場合は必ず弊社までご連絡ください。本製品は分解したときに自動的にレーザ放射を停止する機能を備えておりませんので、分解するとレーザ放射にさらされる危険性があります。
- 本製品を中国国内で使用する場合は、中国語表記の警告ラベル(付属)を貼ってご使用ください。
- 本取扱説明書に記載されている以外の方法で操作しないでください。

3 仕様

品 型 式	HL-C205B (E)	HL-C205B (E)-MK	HL-C205C (E)	HL-C205C (E)-MK
測 定 中 心 距 離 (注2)	拡散反射時 50mm	正反射時 46mm	拡散反射時 50mm	正反射時 46mm
測 定 中 心 距 離 (注3)	50mm ±5mm	46mm ±5mm	50mm ±5mm	46mm ±5mm
光 源	赤色半導体レーザ クラス2(JIS/IEC/GB/KS)、 クラスマーク (FDA) (注4)	赤色半導体レーザ クラス3R (JIS/IEC/GB/KS)、 クラスマーク (FDA) (注4)	最大出力: 1mW、発光ピーク波長658nm	最大出力: 5mW、発光ピーク波長658nm
一 ム 価 格 (注5)	約70 μm	約70 μm	約70 μm	約70 μm
受 光 素 子	リニアイメージセンサ			
分 解 能	0.2 μm/平均回数: 256回、0.05 μm/平均回数: 4,096回 [Eタイプ 0.25 μm (注6)/平均回数: 256回]			
直 線 性	±0.03%F.S.			
温 度 特 性	0.01%F.S./°C			
表 レ ザ 放 射	緑色LED (レーザ放射時点灯)			
测 定 范 围 (注5)	黄色LED (測定中心附近で点灯/測定範囲内で点滅/測定範囲外で消灯)			
保 護 構 造	IP67 (コネクタ部は除く)			
汚 損 度	2			
絶 緣 抵 抗	DC 500Vメガにて 20MΩ以上 (全端子一括ーケース間)			
耐 商 用 周 波	AC 500V 1分間 (全端子一括ーケース間)			
耐 雷 電 圧	±1.0KV 1.2/50μs (全端子一括ーケース間)			
耐 振 動	耐久10~55Hz (周期1分) 復振幅1.5mm X、Y、Z各方向2時間			
耐 衝 撃	196m/s ² X、Y、Z各方向3回			
使 用 周 围 照 度 (注7)	3,000lx以下 (白熱ランプでの受光面照度)			
使 用 周 围 温 度	0~+45°C (但し、結露および氷結しないこと)、保存時: -20~+70°C			
使 用 周 围 湿 度	35~85%RH、保存時: 35~85%RH			
使 用 標 高	2,000m以下			
材 质	本体ケース/本体カバー: アルミダイカスト、前面カバー: ガラス			
ケ ー ブ ル 長	0.5m			
ケ ー ブ ル 延 長	オプション(別売)の延長ケーブルにて全長30mまで延長可能			
質 量	約300g (ケーブルを含む)			
適 合 規 制	EU規制: EMC指令/英国規則: EMC規則適合			

- (注1) 指定の無い測定条件は、コントローラと接続し、電源電圧: 24V DC、周囲温度: +20°C、サンプリング周期: 40μs、平均回数: 256回、測定中心距離: 対象物体: 白セロフィット、デジタル測定値とします。
- (注2) 正反射取付け時に反射光量が大きい場合は、別売の外付けNDフィルタを使用します。
- (注3) 測定範囲は、サンプリング周期20μsでは拡散反射時+0.5~+5.0mm、正反射時+0.5~+5.0mm、また10μsでは拡散反射時+4.7~+5.0mm、正反射時+4.6~+5.0mmに制限されます。
- (注4) FDA規則のLaser Notice No.56の規定に従い、FDA規則に準拠します。
- (注5) 測定中心距離における大きさです。中心光強度の1/e² (約13.5%)で定義されています。定義域外にも漏れ光があり、検出ポイントの周囲が検出ポイントに比べて反射率が高い場合は、その影響を受ける場合があります。
- (注6) “外國為替および外国貿易法”で定めた輸出規制に該当しないタイプのコントローラと接続することで、最小分解能が0.25μmとなります。
- (注7) 使用周囲温度による変動は±0.03%F.S.以下になります。

4 日本国政府による輸出規制

- HL-C205B (-MK) および HL-C205C (-MK) は“外國為替および外国貿易法”で定められた輸出規制に該当します。本製品を輸出するとき、または国外に持ち出すときは、日本政府の輸出許可が必要です。また、国際輸出管理レジームのNuclear Suppliers Group (NSG: 原子力供給団体会合)項目1.B.3.b.1やワッセナー・アレンジメント(協約)の2.B.6.b.1に該当し、規制対象品となりますので、各国の輸出管理規制に従ってください。

- HL-C205BE (-MK) および HL-C205CE (-MK) (Eタイプヘッド) は“外國為替および外国貿易法”で定められた輸出規制に該当しないコントローラとの組合せで使用することを条件に、輸出規制に該当しない製品となります。輸出規制に該当するコントローラを使用する場合、輸出規制の対象となり、本製品を輸出するとき、または国外に持ち出すときは、日本国政府の輸出許可が必要となります。

5 注意事項

接続

- コネクタの装着・取り外しおよび各種接続は、必ずコントローラの電源を切った状態で行ってください。
- コネクタの抜き差しは、必ずコネクタの部分を持って行ない、ケーブルに余分な力を加えないないようにしてください。
- コネクタを外した場合、コネクタ内の端子に触れたり、異物が中に入らないよう注意してください。
- 標準ケーブルおよび延長ケーブルのコネクタ付近に力が加わらないようにしてください。また、断線の原因となりますので、コネクタ付近でケーブルを曲げないでください。

配線

- センサケーブルは、他の配線と同一(平行に接続)にせず100mm以上離してください。また、高圧回路、動力回路の配線とは別にしてください。やむを得ない場合は、アース工事した電線管などの導電体によりシールドしてください。
- 高圧線、高圧機器、動力線、動力機器、大きな開閉サージを発生させる機器、溶接機、インバータモータなどノイズの発生源となる機器からはできるだけ離して設置してください。
- センサヘッド、コントローラを固定してケーブルを配線する場合は、ケーブルを29.4N以上の力で引っ張らないでください。また、ご使用時は、20mm以上あけて最小曲げ半径は30mm以上としてください。
- センサヘッドを移動させて使用する場合、移動部でケーブルが損傷する可能性があります。移動部は延長ケーブルを使用し、延長ケーブルが損傷した場合は直ちに交換してください。故障につながる恐れがあります。

延長ケーブル

- 1つのセンサヘッドとコントローラ間には、各ケーブルに対して延長ケーブル1本のみを使用してください。
- センサヘッド部を移動させて使用する場合は、可動端部から100mm以上離れた位置で延長ケーブルを固定してください。

ウォーミングアップ

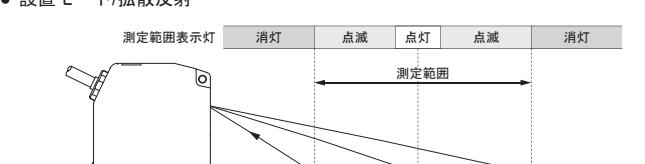
- 性能を確保するため、電源投入後30分以上のウォーミングアップ時間をおいてご使用ください。

環境

- 半導体レーザの寿命は、使用周囲温度に依存します。発熱部の近くで使用する場合は、冷却するなど、できるだけセンサヘッドの周囲温度を下げてご使用ください。またセンサヘッド部自身も発熱しますので、センサヘッドの取り付けは、できるだけ放熱性のよいものにしてください。
- センサヘッドの投・受光面は、水、油や指紋などを光を屈折させるもの、またはホコリやゴミなどの光を遮断するものは付着せないように清浄に保ってください。清掃の際は、ホコリのない柔らかい布、またはレンズ用クリーナーペーパーで拭いてください。
- 太陽光、レーザと同波長の光などの外乱光が受光部に直接入らないようにしてください。特に精度を要求される場合は、センサヘッドに遮光板などを設置してご使用ください。
- センサヘッド部は防侵形となっていますが、コントローラ部及びコネクタ部は、構造上、防塵、防水、耐食性にはなっていませんので、水中あるいは降雨中での測定はできません。使用環境に注意してください。
- 引火性ガス、または腐食ガスの発生する場所、ホコリの多い場所、水滴のあたる場所、直射日光のもと、または振動や衝撃の激しい場所で使用しないでください。

6 測定範囲と表示灯

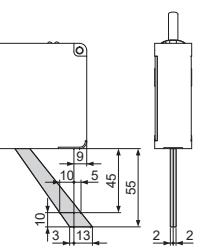
設置モード/拡散反射



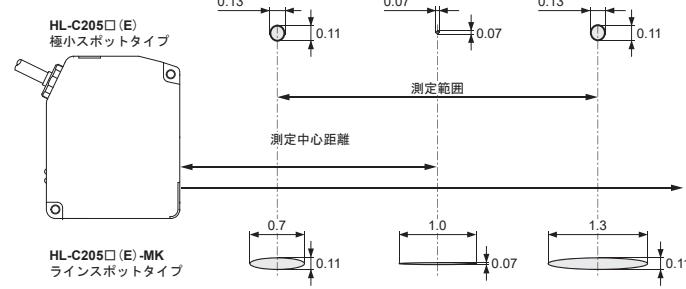
- サンプリング周期20μs、10μs時は、制限された測定範囲の中央で点灯します。

7 相互干渉(単位: mm)

- 拡散反射のセンサヘッドを2台以上隣接取り付けする場合、他のセンサヘッドのレーザスポットが、右図の□の範囲外であれば、相互干渉しません。他のセンサヘッドのレーザスポットが、□の範囲内に入らないように取り付けてください。



8 ビーム径(単位: mm)



9 外形寸法図(単位: mm)

● 設置モード/拡散反射